



中野四季の森公園でみられる植物を詳しく紹介していきます 今回は「ハナモモ」をご紹介します

1

ハナモモ

果物のモモとは違い、花を楽しむために改良されたモモです。
中野では徳川吉宗が紅白の桃を植え、桃の花見の名所として栄えた歴史があり、現在でも「桃園」という地名が残っています。



園内植物マップは
QRコードをご確認ください



2

花（時期：3月下旬～4月上旬頃）

桜と同時期に開花し、中野四季の森公園と中野セントラルパークでは白・桃色の二種類を同時に見ることができます。

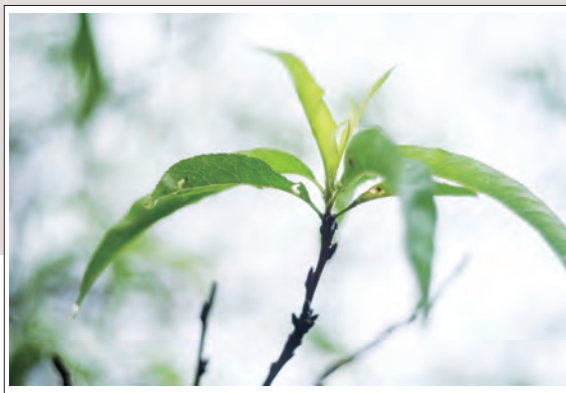
ひな祭りに使用される「桃の花」はハナモモであり、邪気を払うと言われていました。



3

実（花の時期：6月以降）

果物の桃とは違い、青梅くらいの小さな実をつけます。熟してもあまり柔らかくはならず、色も緑色にほんのりと紅が混じったような色をしています。有毒性はないですが、美味しくもないとのこと。



4

葉

細長い楕円形の葉の根元にある数個の突起は「花外蜜腺」と呼ばれる器官で、甘い汁が放出されることでアリやハチがやって来て、青虫などの害虫を追い払ってもらうようになっています。

{ 季節のピックアップイベント }

ツナヨシドッグフェスティバル 2025 SPRING



徳川幕府第5代将軍の徳川綱吉公により発令された「生類憐れみの令」。その象徴的な存在であるお困い(犬屋敷)があったと言われるエリアにて、徳川綱吉公の名を冠した特別なドッグイベントを開催いたします！愛犬との絆を深める体験をお楽しみください。
日時：4月12日(土)13日(日)
9:00～16:00 芝生エリア

中野四季の森公園からお知らせ

●てぶらでピクニック
(ピクニック物品貸出サービス)
3月1日(土)より貸出はじめます。
3月～11月土日祝10-16時(予定)
※現金のみ、予約不可
変更の場合は公式WEBサイトにてお知らせします。

